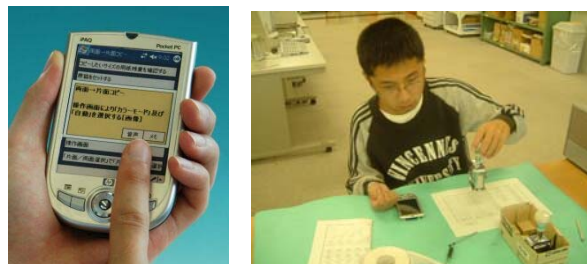


認知障害者の日常生活・就労支援機器の研究

支援PDAソフトと携帯電話アプリ

なんのための研究？

脳外傷や脳血管障害などの後遺症で記憶や注意、遂行機能などに障害が発生する場合があります。そのような高次脳機能障害のある方の日常生活や就労、職業訓練を支援する携帯情報端末（PDA）ソフトウェアと携帯電話アプリケーションを開発しています。



携帯情報端末（PDA）とPDAを利用した職業訓練

研究のポイントは？

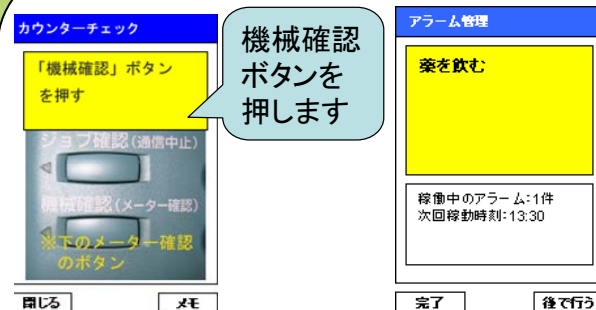
手順支援、スケジュール管理、アラーム、ナビゲーションの4つの機能を研究開発しています。右の写真は手順支援機能とスケジュール管理機能のPDA画面の一例です。右下の写真は携帯電話アプリケーションの表示画面の一例です。



PDAの表示画面例（手順支援とスケジュール）

実用化に向けて

独立行政法人高齢障害者雇用支援機構 国立職業リハビリテーションセンター、明電ソフトウェア株式会社との3者で共同研究を行っています。なお、一部の機能は明電ソフトウェア株式会社から市販化されています（商品名：メモリアシスト）
<http://talkassist.meidensoftware.co.jp/ma/>
携帯電話アプリケーションは無料でダウンロードで配布します。



携帯電話の表示画面例（手順支援とアラーム）